

播陽証券 ＝注目・外株銘柄＝ (2026年3月)

【米国市場・20銘柄掲載】

<新規>

- P1【航空宇宙】 ハウメット・エアロスペース(HWM)
- P2【建物建設】 コンフォート・システムズUSA(FIX)
- P3【通信機器】 コーニング(GLW)
- P4【半導体】 M K S(MKSI)

<継続>

- P5【マグニフィセント7】 エヌビディア(NVDA)
- P6【マグニフィセント7】 マイクロソフト(MSFT)
- P7【マグニフィセント7】 アップル(AAPL)
- P8【マグニフィセント7】 アルファベット(GOOG)
- P9【マグニフィセント7】 アマゾン・ドット・コム(AMZN)
- P10【マグニフィセント7】 メタ・プラットフォームズ(META)
- P11【マグニフィセント7】 テスラ(TSLA)
- P12【半導体】 インテル(INTC)
- P13【半導体】 ブロードコム(AVGO)
- P14【半導体】 アプライドマテリアルズ(AMAT)
- P15【ソフトウェア】 オラクル(ORCL)
- P16【データ解析】 パランティア・テクノロジー(PLTR)
- P17【フィンテック】 ソーファイ・テクノロジー(SOFI)
- P18【航空宇宙】 ロケット・ラボ(RKLB)
- P19【電子部品】 ルメンタム・ホールディングス(LITE)
- P20【製薬バイオ】 ギリアド・サイエンシズ(GILD)

(株価データ、株価指標は現地2026年2月26日現在)

<新規>

特殊金属メーカー、スペースXの有力サプライヤー
データセンターの空調・電設工事の元請業者大手
特殊ガラス製品メーカー、光ファイバー製造米国最大手
半導体製造装置の真空・光・化学関連の周辺部材を提供

<継続>

時価総額トップとなった、画像処理半導体(GPU)開発企業
ソフトウェア世界最大手
デジタルIT機器の設計・販売大手
インターネット検索世界最大手
インターネット小売世界最大手
SNS運営世界最大手
米電気自動車(EV)大手
米ロジック半導体大手
企業インフラソフトも手掛ける、通信用半導体世界大手
半導体製造装置世界大手
データ管理ソフト世界最大手、クラウド市場で大躍進
防衛から民間まで広範にデータ分析プラットフォームを提供
SB出資の学生・住宅ローンを提供するグロース企業
スペースXの対抗馬、垂直統合型の宇宙ビジネス専門企業
光部品・商用レーザーの米国大手
感染症薬からがん治療薬まで多角化進む大手バイオ企業

高度な鋳造技術を持つ特殊金属メーカー、スペースXの有力サプライヤー

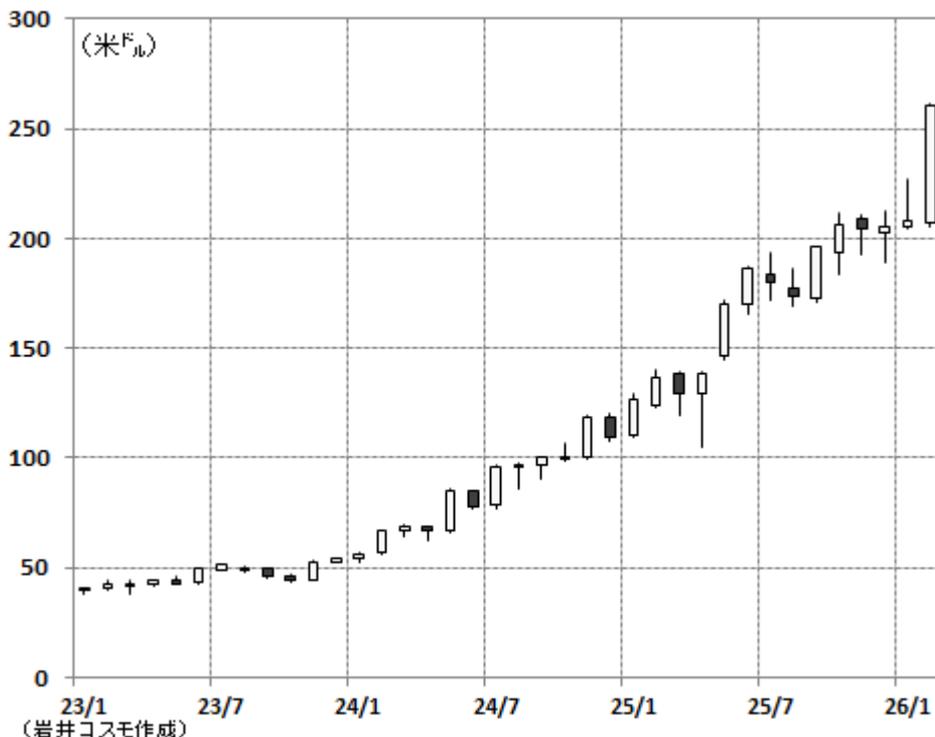
会社概要

航空宇宙産業や商業輸送向けの特殊金属製品を設計・製造するエンジニアリング・ソリューション企業。独自の精密鋳造技術を核に、ジェットエンジン用エアフォイル(翼)やチタン構造部材等で高い世界シェアを誇り、ボーイングやエアバス、GE、RTX等が主要顧客。20年4月に前身のアルコア(アロニック)からの事業分割を経てエンジニアリング製品に特化した企業として再スタートした。25年末の社員数は25,430名。S&P500構成企業。

注目ポイント

□ **高い収益性を誇る「シレット・モデル」**：民間機の運航増に伴うタービンブレード等の交換部品需要が継続的に発生するビジネスモデルにより、高い収益性を維持する。25年第4四半期の売上高は前年同期比15%増の21.7億ドル、調整後1株利益は同42%増の1.05ドルと市場予想を超過。25年末に留め具メカ-CAMの買収を発表、事業拡大を図る。

□ **隠れたAI銘柄・宇宙・発電部品が成長ドライバー**：スペースXのロケット向けに留め具やチタン製グリッドフィンを供給する有力サプライヤーの地位を確立。また、AIデータセンター等の電力需要増を背景に天然ガス発電用ガスタービンの需要が拡大しており、CEOは同事業の売上高を今後3～5年で現在の約2倍(20億ドル規模)に引き上げる目標を提示した。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	260.31 (02/26)
52週高値(日付)	261.69 (26/02/25)
52週安値(日付)	105.06 (25/04/07)
時価総額	1,044億ドル 16兆2,951億円
株価変化率(%)	48.2 (過去6ヶ月間) 95.1 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	68.8 (倍)
株価売上高比率	12.7 (倍)
PBR	19.8 (倍)
税前提当利回り(%)	0.18 (直近年率)
配当成長率(%)	48.4 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	30.8 (%)
株式ベータ	1.18 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/12	7,430	12	1,633	36	1,155	51	2.81	0.26
2025/12	8,252	11	2,046	25	1,508	31	3.71	0.44
四半期業績								
2024/Q4	1,891	—	445	—	314	—	0.77	0.10
2025/Q4	2,168	15	489	10	372	18	0.92	0.12

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

AIインフラ投資の最大恩恵を受ける、データセンター空調・電気設備の元請け大手

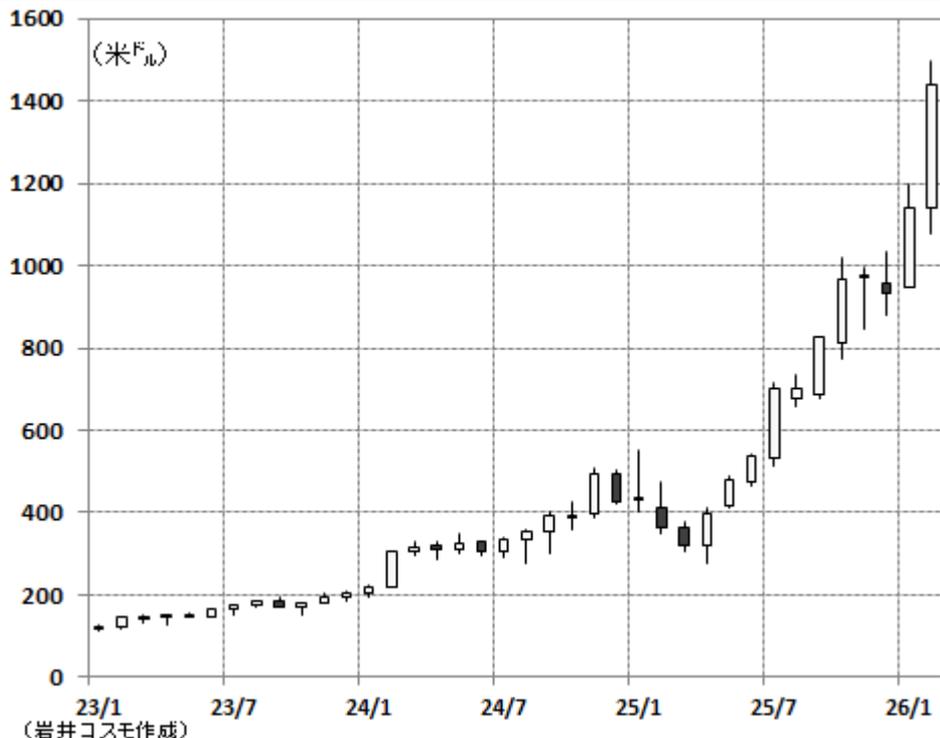
会社概要

全米136都市で商業・工業向けに空調(HVAC)や配管、電気設備の包括的な設置・保守を手掛ける設備工事大手。テクノロジーや製造業を主要顧客とし、アマゾンやキャピラ等々の大手企業が主要サプライヤー。売上構成は新設が63%、保守・修理が37%。施工から完成までの期間短縮が可能なモジュール工法を強化している。25年末時点の従業員数は約2.3万人。25年12月にS&P500構成企業に採用された。

注目ポイント

AIデータセンター投資の恩恵大: ハイパースケラーの設備投資額の約8割がデータセンターに振り向けられており、同社にとって強い追い風となっている。受注しきれないほどの需要があり、高採算案件のみを選別して受注できる強気姿勢と高い利益率が強み。また新規施設完成後も定期的な保守・修理サービスを通じて強固な継続収益基盤を構築している点も同社の魅力。

驚異的な受注残と好決算: 25年第4四半期の売上高は前年同期比42%増の26.5億ドル、営業キャッシュフローは4.69億ドルといずれも市場予想を大きく上振れした。受注残高は1年前に比べ倍増、前四半期末から25.6億ドル積み上がり、過去最高の119.4億ドルに達した。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	1438.23 (02/26)
52週高値(日付)	1499.96 (26/02/25)
52週安値(日付)	276.44 (25/04/04)
時価総額	506億ドル 7兆8,986億円
株価変化率(%)	102.6 (過去6ヶ月間) 303.3 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	48.6 (倍)
株価売上高比率	5.6 (倍)
PBR	20.7 (倍)
税配前当利回り(%)	0.19 (直近年率)
配当成長率(%)	62.5 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	49.2 (%)
株式ベータ	1.67 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/12	7,027	35	749	79	522	62	14.60	1.20
2025/12	9,102	30	1,315	75	1,023	96	28.88	1.95
四半期業績								
2024/Q4	1,868	—	226	—	146	—	4.09	0.35
2025/Q4	2,646	42	427	89	331	127	9.37	0.60

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

特殊ガラス製品メーカー、AIインフラとして需要が急増する光ファイバーで復権中

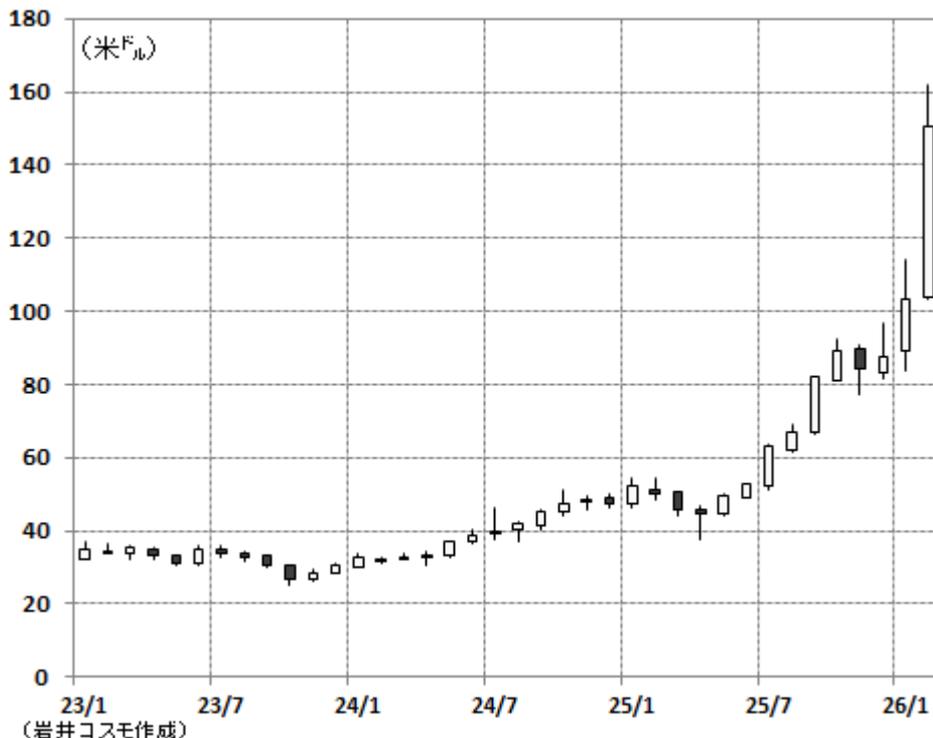
会社概要

1851年創立。特殊ガラスやセラミックスの世界最大手。エジソンの電球用ガラスに始まり、iPhoneの「ゴリラガラス」で知られる高い技術力を誇る。事業は光通信、ディスプレイ、環境、ライフサイエンス分野まで多岐に亘るが、現在はAIデータセンター需要に伴う光ファイバー関連が急成長。24年に開始した中期成長戦略「スプリングボード」の下、生成AIブームを背景に力強い回復を遂げながら、収益性向上を加速させている。

注目ポイント

□ **メタと最大60億ドルの大型契約**: 26年1月にメタと最大60億ドル規模の複数年の供給契約を締結。メタのAIデータセンター向けに最新の光ファイバー、ケーブル、接続ソリューションを独占供給する。これに伴ってノースカロライナ州の製造拠点を大幅拡張、メタを主要顧客として米国本土でのサプライチェーンが充実・強化する。

□ **成長目標を引き上げ**: 強固な受注を背景に同社は26年末までの年間売上成長目標を従来の60億ドルから65億ドルへ上方修正。25年8月発表のアップルとの25億ドル規模の提携に続き、メガテック企業との深耕が続く。AI需要を追い風に25年度の光通信部門は、前年比3割超の増収が実現、営業利益率も19%台へ拡大した。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	150.3 (02/26)
52週高値(日付)	162.06 (26/02/25)
52週安値(日付)	37.5 (25/04/07)
時価総額	1,289億ドル 20兆1,329億円
株価変化率(%)	123.5 (過去6ヶ月間) 206.7 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	79.4 (倍)
株価売上高比率	8.2 (倍)
PBR	10.3 (倍)
税前提当利回り(%)	0.75 (直近年率)
配当成長率(%)	0.0 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	14.2 (%)
株式ベータ	1.08 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/12	13,118	4	1,135	28	506	-13	0.58	1.12
2025/12	15,629	19	2,279	101	1,596	215	1.83	1.12

四半期業績

2024/Q4	3,501	—	393	—	310	—	0.36	0.28
2025/Q4	4,215	20	672	71	540	74	0.62	0.28

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

AI半導体製造に不可欠な「真空・光・化学」の統合プロバイダー

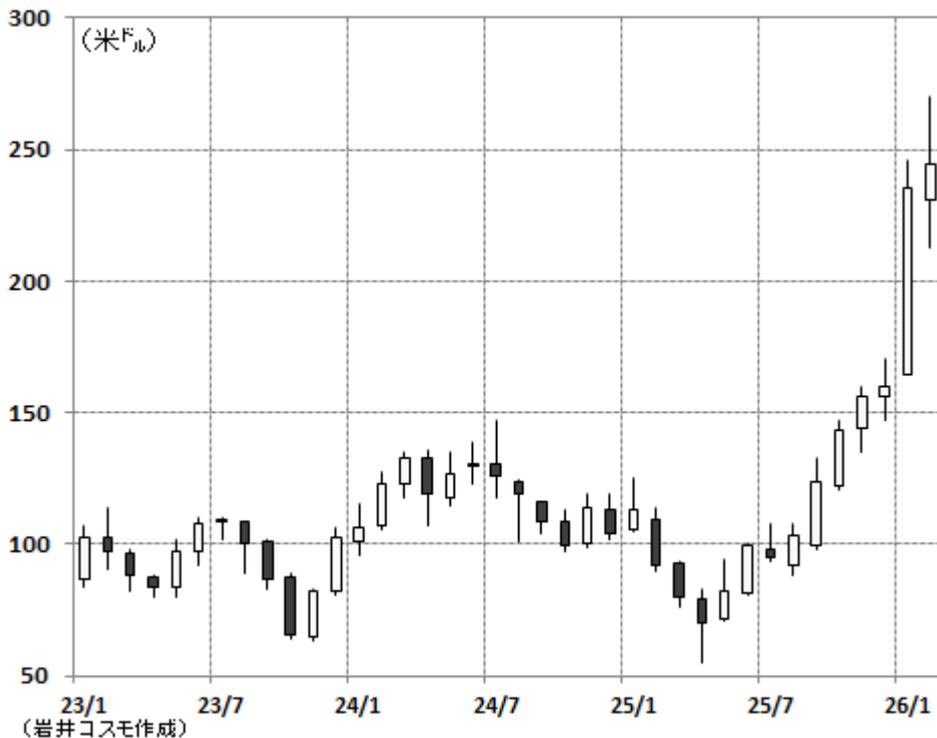
会社概要

1961年設立、マサチューセッツ州アンドーバーに拠点を置く米国精密機器メーカー。先端半導体製造や電子機器向けに、真空制御機器やガス流量計測システム等の技術ソリューションを提供する。2022年に化学技術大手アテックを買収し、基板製造向けのレーザー技術と化学(めっき)ソリューションを統合した独自のモデルを構築した。2025年5月に社名を「MKS Instruments, Inc.」から現行の「MKS Inc.」に変更した。

注目ポイント

□ **AIパッケージングで覚醒**: AI向け半導体(GPU等)の性能向上が高度なパッケージングへ移行する中、同社のレーザー穴あけ技術とアテックのめっき薬品の組み合わせが次世代技術(TSMCのCoWoS等)に不可欠となっている。ウェハ製造装置前工程において市場の85%以上をカバーし、微細化の転換点を成長機会に変える強固な地位を築く。

□ **売上は過去最高、負債削減の進捗**: 25年第4四半期の売上高は前年同期比10%増の10.3億ドルと過去最高を記録、調整後1株利益は同15%増の2.47ドルと市場予想を上振れた。アテック買収による巨額の有利子負債の影響で割安評価の一因となっていたが、進行中の債務返済の進捗を通じて割安感の解消が期待される。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ

株価(米ドル)	244.68 (02/26)
52週高値(日付)	269.77 (26/02/17)
52週安値(日付)	55.01 (25/04/04)
時価総額	165億ドル 2兆5,690億円
株価変化率(%)	131.5 (過去6ヶ月間) 168.4 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)

実績PER	48.4 (倍)
株価売上高比率	4.2 (倍)
PBR	6.0 (倍)
税前提当利回り(%)	0.41 (直近年率)
配当成長率(%)	3.4 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	11.7 (%)
株式ベータ	2.04 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/12	3,586	-1	498	黒転	190	黒転	2.81	0.88
2025/12	3,931	10	528	6	295	55	4.37	0.88

四半期業績

2024/Q4	935	—	135	—	90	—	1.33	0.22
2025/Q4	1,033	10	144	13	108	20	1.58	0.22

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

生成AI(人工知能)に欠かせない超高性能半導体を開発、AI分野で主導権を掌握へ

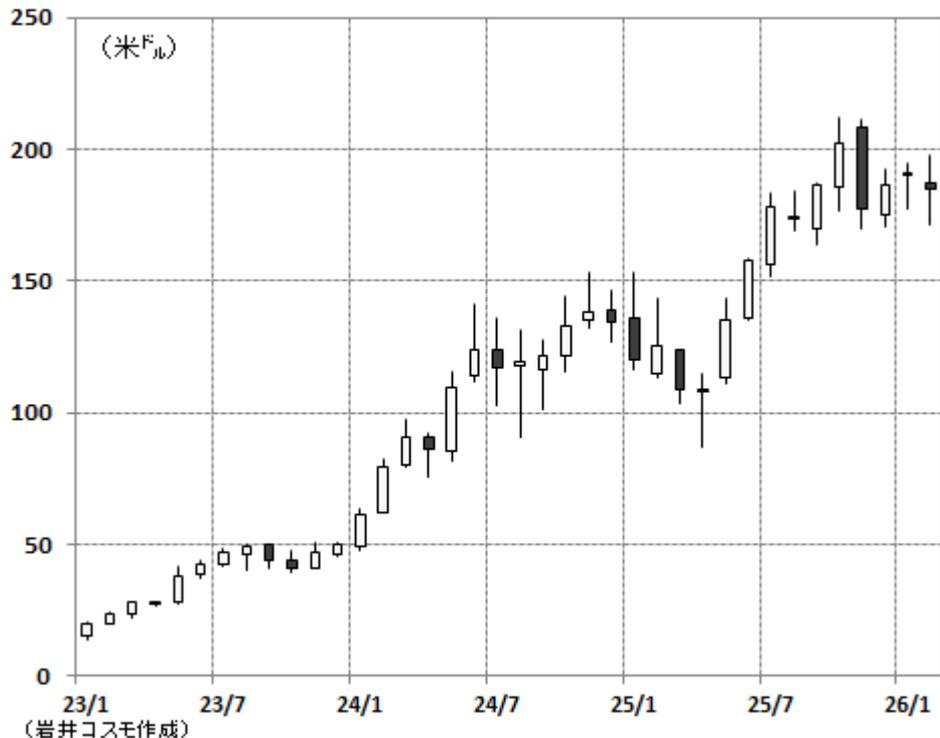
会社概要

1993年設立の米国の半導体メーカ。コンピュータのグラフィックス処理や演算処理の高速化を主な目的とするGPU(画像処理半導体)を設計・開発する。自社で製造を行わないファブレスメーカで台湾セミコンダクターや韓国サムスン電子に製造を委託。用途別売上構成は、AIを含むデータセンター向けが90%、ゲーム市場向けが7%、プロ向けの視覚化技術が1.5%、自動車向けが1.1%、OEM&IPが0.3%(26年1月期)。

注目ポイント

□ **AI半導体で主導権**: 11-1月期売上高は前年同期比73%増の681億ドルと過去最高を更新。AI半導体「ブラックウェル」の需要が牽引、調整後粗利益率も75.2%の高水準のまま。2-4月期の売上高見通しは780億ドル前後と力強い。エージェントAIの普及で推論向けが急拡大、「ツルハシ」としてのAIインフラの圧倒的存在感は当面揺るがない。

□ **次世代品サンプル出荷開始**: 「ブラックウェル」の力強い需要が続く中、次世代プラットフォーム「ヴェラ・ル・ビン」のサンプル出荷を既に開始、本格量産は年後半予定。3月16日の技術開発者会議「GTC」では、半導体技術企業グロック社との協業や、CPU単独展開など新たな構想が発表され、競争力の高さに焦点が及ぶ見通し。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	184.89 (02/26)
52週高値(日付)	212.15 (25/10/29)
52週安値(日付)	86.63 (25/04/07)
時価総額	4兆4,928億ドル 701兆4651億円
株価変化率(%)	1.8 (過去6ヶ月間) 53.9 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	40.0 (倍)
株価売上高比率	20.9 (倍)
PBR	28.6 (倍)
税前配当利回り(%)	0.02 (直近年率)
配当成長率(%)	17.6 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	101.5 (%)
株式ベータ	1.83 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2025/01	130,497	114	81,453	147	72,880	145	2.94	0.034
2026/01	215,938	65	130,387	60	120,067	65	4.90	0.040

四半期業績

2025/Q4	39,331	—	24,034	—	22,091	—	0.89	0.010
2026/Q4	68,127	73	44,299	84	42,960	94	1.76	0.010

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

ソフトウェア世界最大手、生成AI技術実装・クラウド事業で高成長続く

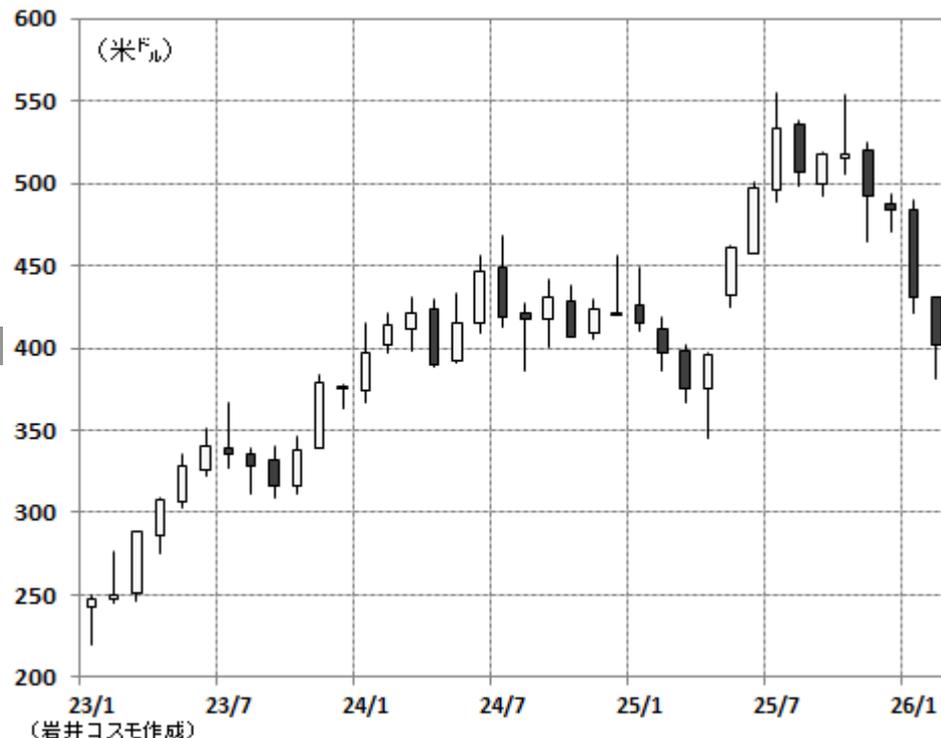
会社概要

ソフトウェア世界最大手。1975年創業。80～90年代にウィンドウズ(OS:基本ソフト)とオフィス(ワード、エクセル等)で急成長。ほかゲームやネット広告等も手掛け、企業から消費者向けまで幅広く事業を展開。2016年12月にビジネス向けSNSサイトの「リンクイン」を買収。2014年に就任したナデラCEOのもと、デバイス・サービス戦略から生産性やモバイル、クラウドを重視した経営に軸足を移している。

注目ポイント

□**クラウド事業の拡大が奏功**: 10-12月期売上高は前年同期比17%増の813億ドル。中でもアジュールを含むインテリジェント・クラウド部門の売上高は29%増の329億ドルと予想を上回った。アジュール単体の成長率は39%に達した。自社製AI半導体「マイア200」を新たに導入、供給制約の解消とコスト効率化を推進。AIインフラ投資は同66%増の375億ドルと過去最大規模に膨らむが、旺盛なAI需要を収益化する。

□**オープンAIとの提携が利益押し上げ**: 10-12月期の純利益は同60%増の385億ドル。オープンAIの再編等に伴う投資評価益76億ドルが純利益を押し上げた。法人向け受注残高は前年比110%増の6,250億ドルと高い伸びを記録、その約45%をオープンAI関連が占めた。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	401.72 (02/26)
52週高値(日付)	555 (25/07/31)
52週安値(日付)	344.83 (25/04/07)
時価総額	2兆9,830億ドル 465兆7395億円
株価変化率(%)	-20.7 (過去6ヶ月間) 2.3 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	26.8 (倍)
株価売上高比率	9.8 (倍)
PBR	7.6 (倍)
税前提当利回り(%)	0.91 (直近年率)
配当成長率(%)	10.1 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	34.4 (%)
株式ベータ	1.01 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/06	245,122	16	109,433	24	88,136	22	11.80	3.00
2025/06	281,724	15	128,528	17	101,832	16	13.64	3.24

四半期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2025/Q2	69,632	—	31,653	—	24,108	—	3.23	0.83
2026/Q2	81,273	17	38,275	21	38,458	60	5.16	0.91

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

スマートフォン等のデジタル機器の設計・販売大手、高いブランド力が強み

会社概要

スマートフォン(スマホ)「アイフォン」や、タブレットPC「アイパッド」などデジタルIT機器を設計・販売。1977年に設立。スティーブ・ジョブズ氏が1997年に復帰し、次々と革新性のある製品投入、再興を果たす。2011年のジョブズ氏没後は現クックCEO体制へ、2012年以降は大規模な株主還元策を開始。独自の基本ソフト開発やアプリ販売等で他社と一線を画す。2015年3月、NYダウ工業株平均に採用された。

注目ポイント

□ **アップル版生成AI(日本語版)開始**: 生成AI「アップルインテリジェンス」が日本語に対応し、絵文字作成機能や音声指示機能を25年4月より提供開始した。他方、生成AI機能の劣勢が指摘されていたが次期OSの生成AI基盤として、グーグルの最新モデル「Gemini3」の採用交渉が大詰めとの報道が26年1月に浮上。自社版「アップルインテリジェンス」と併用し、弱点とされる高度な推論・検索機能を補完する狙い。

□ **10-12月期は歴史的増収**: 25年10-12月期は前年同期比16%増収、同16%最終増益。9月発売の「アイフォン17」および薄型「アイフォンエア」はAI処理能力が大幅に強化され、旧機種からの記録的な買い替え需要を創出、中華圏売上も38%増と急回復した。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ

株価(米ドル)	272.95 (02/26)
52週高値(日付)	288.6 (25/12/03)
52週安値(日付)	169.22 (25/04/08)
時価総額	4兆0.072億ドル 625兆6468億円
株価変化率(%)	18.4 (過去6ヶ月間) 15.0 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)

実績PER	34.5 (倍)
株価売上高比率	9.3 (倍)
PBR	45.5 (倍)
税前配当利回り(%)	0.38 (直近年率)
配当成長率(%)	4.0 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	152.0 (%)
株式ベータ	1.09 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/09	391,035	2	123,216	8	93,736	-3	6.08	0.98
2025/09	416,161	6	133,050	8	112,010	19	7.46	1.02

四半期業績

2025/Q1	124,300	—	42,832	—	36,330	—	2.40	0.25
2026/Q1	143,756	16	50,852	19	42,097	16	2.84	0.26

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

インターネット検索サービス世界最大手、ネット広告以外の収益基盤拡大も進行

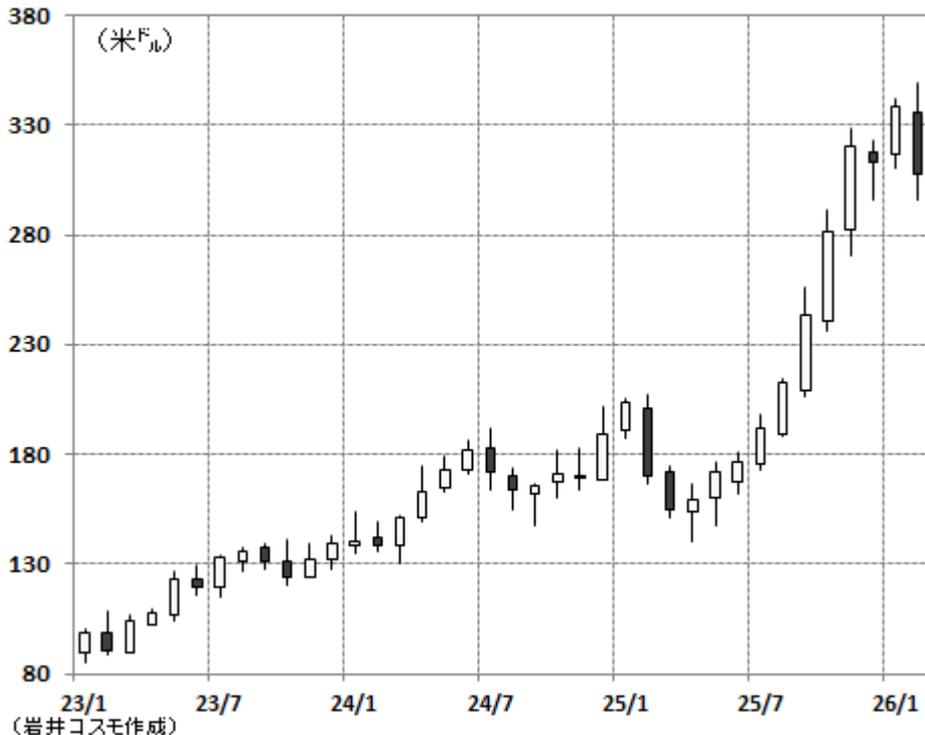
会社概要

ネット検索サービス世界最大手「グーグル」を傘下に置く持株会社。97年にサービス開始、04年8月上場。検索広告が主要収入源。革新力で定評があり、モバイル端末の無料基本ソフト「アンドロイド」は、同社の開発。また自動運転車などを社内で育成中。またアプリ・コンテンツ販売やクロームブック事業、クラウド型ビジネス向けソフトなどの事業展開も。本社はカリフォルニア州、従業員数は190,820人(25年12月末)。

注目ポイント

□ **最新AI「Gemini 3.5」とクラウドの加速**: 10-12月期売上高は前年同期比18%増の1,138億ドル。検索広告の堅調に加え、AI需要を取り込んだクラウド部門が47%増の176億ドルと急成長し利益を牽引。26年1月には、推論能力と処理速度を飛躍させた「Gemini 3.5」を全サービスに統合。AI検索の進化により広告単価も上昇傾向にあり、生成AIによる収益化フェーズが本格化している。

□ **「ウェイモ」の日本進出**: 自動運転部門ウェイモは初の海外進出先として東京やロンドンを選定。25年4月から東京都心で地図作成と実証走行を開始、26年の稼働を目指す。一方、電力確保のため再エネ大手「インタセクト・パワー」を取得。AIインフラの安定稼働と低炭素化を両立を図る。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	307.38 (02/26)
52週高値(日付)	349 (26/02/03)
52週安値(日付)	140.53 (25/04/07)
時価総額	3兆7,170億ドル 580兆3397億円
株価変化率(%)	48.1 (過去6ヶ月間) 82.4 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	33.3 (倍)
株価売上高比率	9.2 (倍)
PBR	9.0 (倍)
税前提当利回り(%)	0.27 (直近年率)
配当成長率(%)	38.3 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	35.7 (%)
株式ベータ	1.05 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/12	350,018	14	112,390	33	100,118	36	8.04	0.60
2025/12	402,836	15	129,039	15	132,170	32	10.81	0.83

四半期業績

2024/Q4	96,469	—	30,972	—	26,536	—	2.15	0.20
2025/Q4	113,828	18	35,934	16	34,455	30	2.82	0.21

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

インターネット小売世界最大手、ネット通販とクラウド受託サービス事業の双方で競争優位

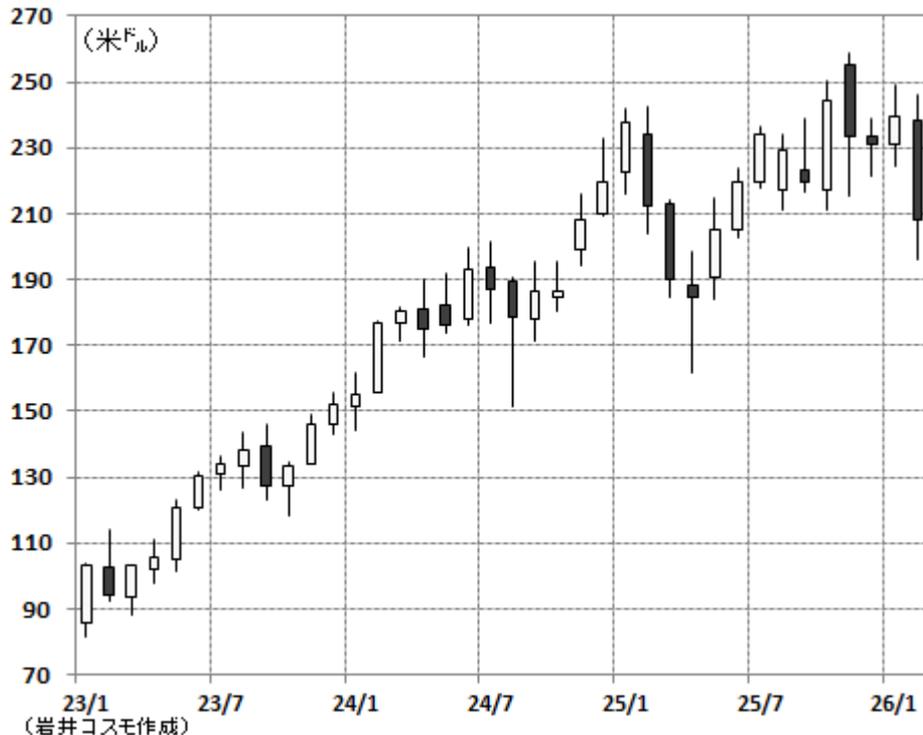
会社概要

インターネット小売世界最大手。ジェフ・ベゾス氏が設立、1995年にサービス開始。書籍中心の取扱いから急速に品揃えを拡充。電子書籍端末「キンドルファイア」シリーズ等を投入、新市場開拓に意欲的。世界で個人有料会員は2億人を超え、動画や音楽の配信サービスを提供、法人向けのデータセンター利用サービスでも存在感が高い。本社はワシントン州シアトル。2024年2月、NYダウ工業株30種平均に採用された。

注目ポイント

□ AWSが成長再加速: 10-12月期の主力のAWS(クラウド)部門は前年同期比24%増収と過去13四半期で最大の伸びを記録、年換算売上高は1,420億ドルに到達した。AI需要の爆発により受注残高は前年比40%増の2,440億ドルへ急増。また25年の広告事業は前期比22%増(686億ドル)と高成長を維持する。一方、AIインフラ拡充のため、26年設備投資額を同約5割増の2,000億ドルと巨額となる。

□ AIによる組織変革と収益性: 26年1月、組織のフラット化と自動化を目的とした「プロジェクト・D」の下、世界で約1.6万人の追加人員削減を実施。AIチャットボット「ルーフラス」や、物流ロボティクスの進化等を通じて固定費抑制と顧客体験の向上を同時達成を目指す。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	207.92 (02/26)
52週高値(日付)	258.59 (25/11/03)
52週安値(日付)	161.56 (25/04/07)
時価総額	2兆2,320億ドル 348兆4829億円
株価変化率(%)	-9.3 (過去6ヶ月間) -0.4 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	29.7 (倍)
株価売上高比率	3.1 (倍)
PBR	5.4 (倍)
税前列当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	22.3 (%)
株式ベータ	1.29 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/12	637,959	11	68,593	86	59,248	95	5.53	0.00
2025/12	716,924	12	79,975	17	77,670	31	7.17	0.00

四半期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/Q4	187,792	—	21,203	—	20,004	—	1.86	0.00
2025/Q4	213,386	14	24,977	18	21,192	6	1.95	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

日々35億人超のユーザーが利用する世界最大のSNS運営会社

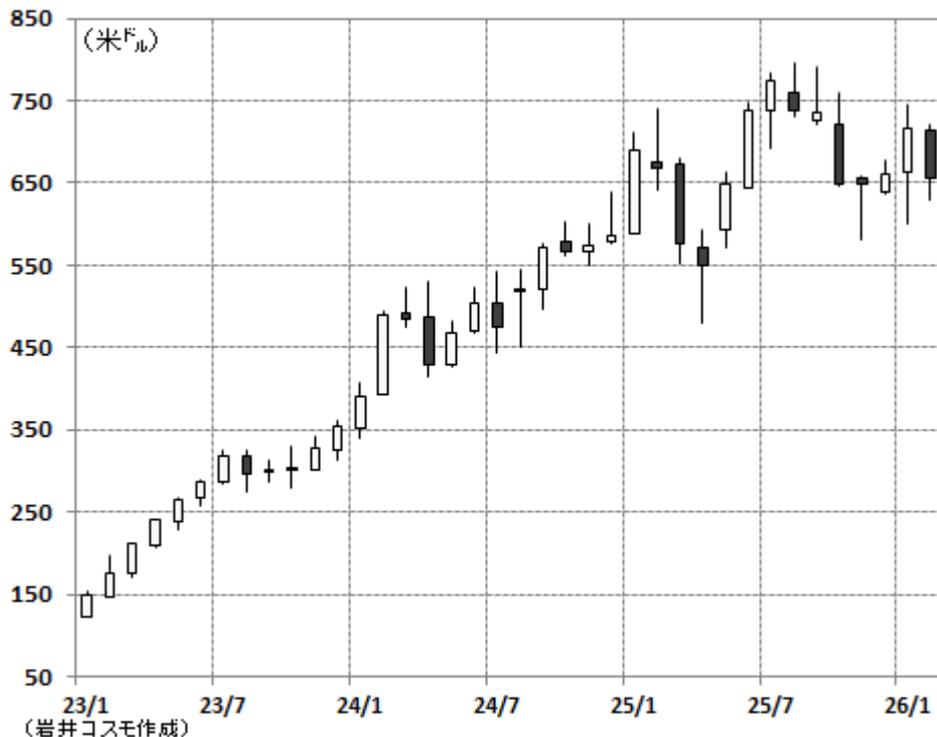
会社概要

世界最大のSNS運営会社。2004年設立、毎日利用する会員数(Instagram等も含む)は全世界で35.8億人(25年10-12月期)。マーク・ザッカーバーグ氏が大学在学時代に立ち上げ、サクセス・ストーリーは映画化された。2021年に社名を「フェイスブック」から現在の「メタ・プラットフォームズ」に変更し、メタバースに注力する姿勢を鮮明にした。本社はカリフォルニア州メンロパーク、従業員数は78,865人(25年12月末時点)。

注目ポイント

□ **AI広告の結実と成長加速**: 10-12月期売上高は前年同期比23%増の493億ドルと過去最高を更新。AIによる広告最適化システム「Llama 4」の実装も奏功し広告単価が6%上昇、広告表示回数18%増加した。生成AI「Meta AI」の月間利用者は全世界で12億人を突破、検索広告に代わる新たな収益源として期待される。

□ **巨額設備投資に強気姿勢**: レイバン・メタのスマートグラスが歴史的な大ヒットを記録、赤字続きの「リアリティラボ」部門の今後の収益改善を見込む。他方26年設備投資計画はAIインフラ等に1,150億~1,350億ドルと巨額だが、「過少投資こそが最大のリスク」とCEOは強気。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	657.01 (02/26)
52週高値(日付)	796.21 (25/08/15)
52週安値(日付)	479.89 (25/04/21)
時価総額	1兆6,625億ドル 259兆5614億円
株価変化率(%)	-12.1 (過去6ヶ月間) -0.2 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	22.5 (倍)
株価売上高比率	8.2 (倍)
PBR	7.7 (倍)
税前提当利回り(%)	0.32 (直近年率)
配当成長率(%)	5.0 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	30.2 (%)
株式ベータ	1.19 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/12	164,501	22	69,380	48	62,360	59	23.86	0.00
2025/12	200,966	22	83,276	20	60,458	-3	23.49	2.08

四半期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/Q4	48,385	—	23,365	—	20,838	—	8.02	0.50
2025/Q4	59,893	24	24,745	6	22,768	9	8.88	0.52

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

従来の概念を覆す電気自動車メーカー世界大手

会社概要

2003年創業の世界的な電気自動車(EV)メーカー。高速・長距離走行が可能でEVの大量生産・開発を行う。2017年2月に社名を「テスラ・モーターズ」から「テスラ」に変更。25年のEV納車台数は前期比9%減の163.6万台。CEOのイーロン・マスク氏は米政財界で大きな影響力を持ち、宇宙開発ベンチャーのスペースXのCEOを兼任する等、世界を代表するカスマ経営者として知られる。S&P500種構成銘柄。

注目ポイント

□ **マスク氏AI企業への転換加速**: 25年納車台数は約164万台と前年割れも、マスク氏は「自動車会社からAI企業への転換」を強調。政府効率化省(DOGE)は11月に解散(同氏は5月に離脱済み)し、政治的混乱を経て経営に完全復帰。26年1月、オースティンで無人の商業走行を開始。年内に全米、主要数十都市でロボタクシー展開と目指す。

□ **AI・ロボタクシー投資を拡大**: 25年10-12月期は、米国での購入補助金終了に伴うEV販売減で減収減益も、他地域の販売強化が奏功し調整後EPSは予想を上回った。マスク氏は26年を「巨額投資の年」と位置付け、設備投資を前年の90億ドル未満から200億ドル超へ倍増させる計画。ロボタクシー「サイバーキャブ」は4月生産開始予定とした。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	408.58 (02/26)
52週高値(日付)	498.82 (25/12/22)
52週安値(日付)	214.25 (25/04/07)
時価総額	1兆5,332億ドル 239兆3736億円
株価変化率(%)	16.9 (過去6ヶ月間) 44.9 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	339.1 (倍)
株価売上高比率	13.9 (倍)
PBR	18.7 (倍)
税前列当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	4.9 (%)
株式ベータ	1.65 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/12	97,690	1	7,076	-20	7,091	-53	2.04	0.00
2025/12	94,827	-3	4,355	-38	3,794	-46	1.08	0.00

四半期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/Q4	25,707	—	1,583	—	2,125	—	0.60	0.00
2025/Q4	24,901	-3	1,409	-11	840	-60	0.24	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

コンピュータの心臓部、CPUの世界最大手、先端半導体競争でTSMCに巻き返し

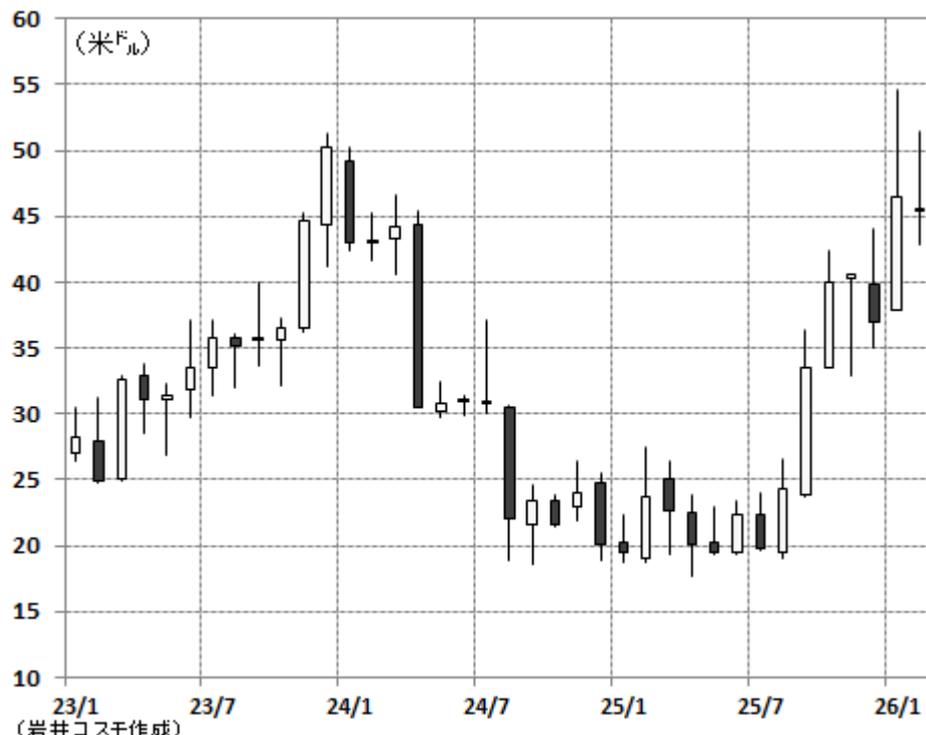
会社概要

1968年にロバート・ノイスらが設立。世界初の商用マイクロプロセッサ「4004」を生んだ半導体業界の先駆者。PCおよびサーバ向けCPUで長年圧倒的シェアを維持。近年はAI、5G、自動運転(Mobileye)などデータ中心の成長分野へ経営資源を集中させる。25年3月に就任したリップ・ブータンCEOの下、技術主導での再建を加速。本社は米カリフォルニア州。25年12月時点の従業員数は85,100人。

注目ポイント

□ **「18A」始動とCES 2026**: 社運を賭けた「Intel 18A」プロセス(1.8nm相当)の量産化に成功。1月のCESでは、同プロセス採用のAI PC向け「Core Ultra シリーズ3」を発表。NPU等を統合したAI性能は最大180TOPSに達し、電力効率でも競合を凌駕。データセンター向け「Xeon 6+」も投入し、技術的優位性の復権をアピールした。

□ **エヌビディア・政府が巨額出資**: 25年12月に競合するエヌビディアから50億ドル(約4.3%相当)の出資を受け入れ、AIインフラの共同開発で合意。これに先立つソフトバンクGの20億ドル出資に加え、トランプ政権下のCHIPS法に基づく政府直接出資も確定(5.5%保有)。国家安全保障上の重要拠点としてアップル等からの受託生産獲得も目指す。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	45.46 (02/26)
52週高値(日付)	54.595 (26/01/22)
52週安値(日付)	17.665 (25/04/08)
時価総額	2,271億ドル 35兆4,529億円
株価変化率(%)	82.9 (過去6ヶ月間) 96.9 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	— (倍)
株価売上高比率	3.9 (倍)
PBR	2.0 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	-0.3 (%)
株式ベータ	1.48 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/12	53,101	-2	-11,678	赤転	-18,756	赤転	-4.38	0.38
2025/12	52,853	-0.5	-2,214	赤継	-267	赤継	-0.06	0.00

四半期業績								
決算期	売上高	前同比	営業利益	前同比	当期利益	前同比	1株利益	配当
2024/Q4	14,260	—	412	—	-126	—	-0.03	0.00
2025/Q4	13,674	-4	580	41	-591	赤継	-0.12	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

通信用半導体大手。カスタム半導体と高速ネットワーク機器用のAI半導体が急成長

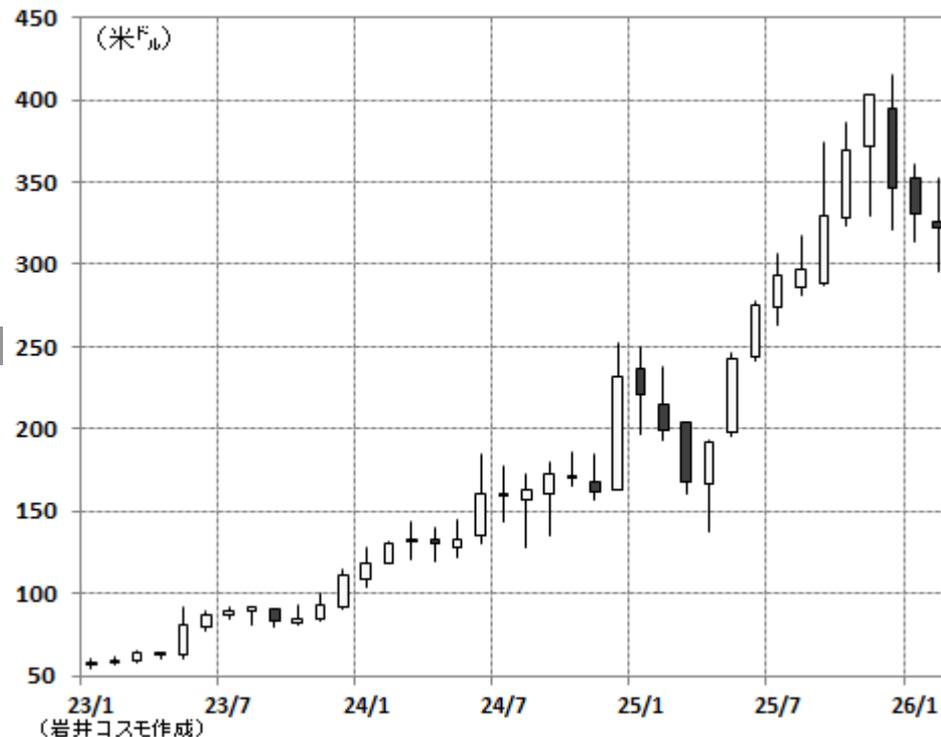
会社概要

2016年に半導体企業アバゴが旧ブロードコムを買収して誕生した通信用半導体大手。WiFi/Bluetooth/GPUや各種ネットワーク機器用半導体を手掛け、有力アップルサプライヤーでもある。M&A巧者として知られ18年以降、CAやシマンテックの法人部門、VMウェアといった企業インフラソフト企業を次々取得。売上高構成のうち半導体が6割、ソフトウェアが4割となった。情報インフラ技術をリードする世界有数の企業を目指す。

注目ポイント

□**カスタム半導体等のAI半導体を供給**: 巨大なデータセンターを持つ、複数のIT大手にAIの演算処理を行うカスタムASIC(特定用途集積回路)を提供、カスタム半導体分野のトップ企業として知られる。またAIサーバ-同士をつなぐ高速ネットワーク機器に搭載される半導体も供給する。

□**AI半導体の顧客増加で業界優位に**: カスタムAIアクセラレータ(XPU)や高速ネットワーク機器向けが好調な同社のAI半導体は、8-10月期に前年同期比74%増の64億ドルを記録、11-1月期は82億ドルを見込む。会社側では26年度のAI半導体の成長率は25年度を上回り加速するとの見方。オープンAIとの大規模提携に加え5社目の顧客も獲得し、今後18カ月のAI関連受注残高は730億ドルに達している。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	321.7 (02/26)
52週高値(日付)	414.6 (25/12/10)
52週安値(日付)	138.11 (25/04/07)
時価総額	1兆5,253億ドル 2,38兆1,401億円
株価変化率(%)	7.1 (過去6ヶ月間) 62.6 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	60.2 (倍)
株価売上高比率	23.7 (倍)
PBR	18.8 (倍)
税前提当利回り(%)	0.81 (直近年率)
配当成長率(%)	11.5 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	31.0 (%)
株式ベータ	2.02 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/10	51,574	44	13,463	-17	5,895	-58	1.23	2.105
2025/10	63,887	24	25,484	89	23,126	292	4.77	2.360

四半期業績								
決算期	売上高	前同比	営業利益	前同比	当期利益	前同比	1株利益	配当
2024/Q4	14,054	—	4,627	—	4,324	—	0.90	0.530
2025/Q4	18,015	28	7,508	62	8,518	2	1.74	0.590

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

先端パッケージングに強みを持つ半導体製造装置の世界大手

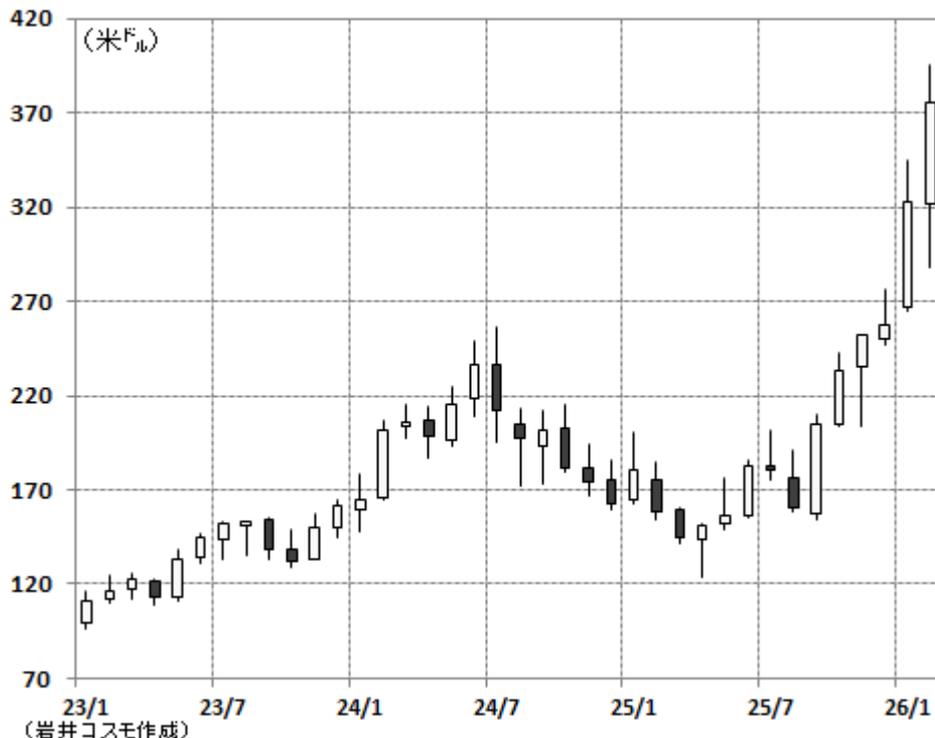
会社概要

半導体製造装置世界大手。成膜、エッチング、検査、CMPなど前工程のほぼ全域を網羅、特に材料工学を駆使したCVDやPVD装置で圧倒的シェアを誇る。主要顧客はTSMC、サムスン、インテル等。25年末よりディスプレイ事業を統合し、経営資源を半導体とサービス部門へ集中。26年春にはシリコンバレーの新拠点「EPICセンター」が稼働し、顧客との次世代技術共創を加速させる。本社は米カリフォルニア州。

注目ポイント

□ **AI半導体を支える「材料工学」**： AIインフラ拡大に伴い、従来の微細化に加え「ハイブリッドボンディング」等の先端パッケージング技術が成長の柱。AIチップに不可欠なHBM製造でも強みを発揮する。26年後半からは先端ロジック向け需要が加速する見通し。

□ **GAA移行とサービス収入の盤石化**： 2ナノ以降の主流「GAA」構造や「裏面電源供給」への転換は、得意とする成膜・エッチングの需要を構造的に押し上げ、GAA関連シェアは50%超を維持。保守・サービス事業が強みで、26年度より完全な継続課金型(サブスク)へ移行。売上の約3割を占める安定収益が、市況変動の緩衝材として機能する。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	375.72 (02/26)
52週高値(日付)	395.95 (26/02/25)
52週安値(日付)	123.93 (25/04/07)
時価総額	2,982億ドル 46兆5,541億円
株価変化率(%)	128.6 (過去6ヶ月間) 139.9 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	40.1 (倍)
株価売上高比率	10.6 (倍)
PBR	13.7 (倍)
税前配当利回り(%)	0.49 (直近年率)
配当成長率(%)	15.0 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	38.9 (%)
株式ベータ	1.52 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/10	27,176	2	7,867	3	7,177	5	8.61	1.52
2025/10	28,368	4	8,289	5	6,998	-2	8.66	1.78

四半期業績

2025/Q1	7,166	—	2,175	—	1,185	—	1.45	0.40
2026/Q1	7,012	-2	1,831	-16	2,026	71	2.54	0.46

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

データ管理ソフト世界最大手、インフラクラウド市場で大躍進

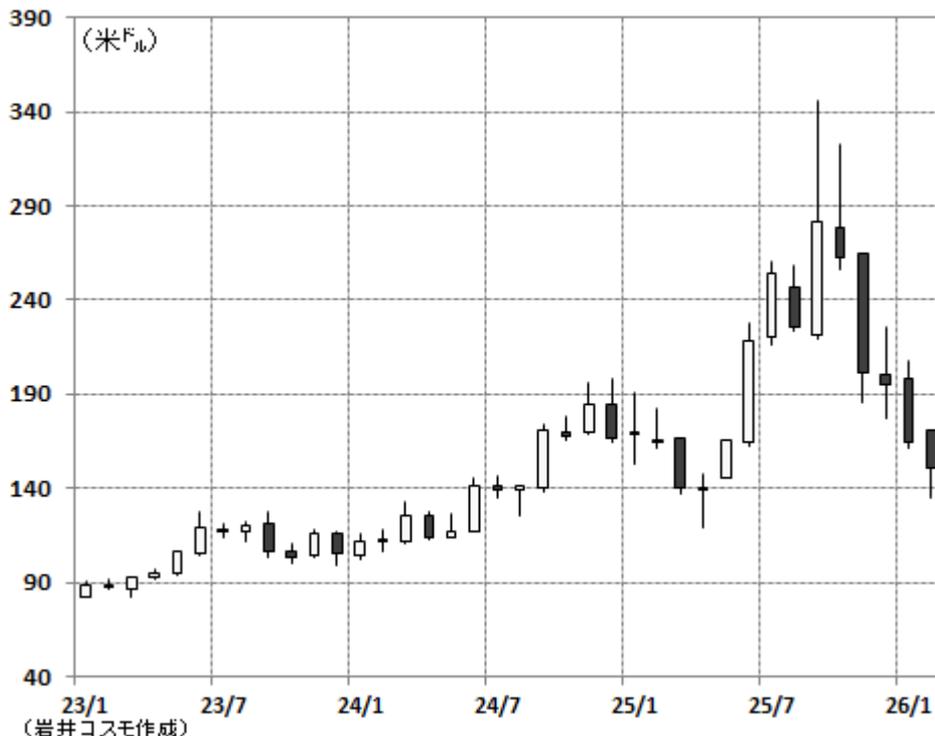
会社概要

1977年創業のマイクロソフトに次ぐ、世界2位のソフトウェア会社。法人向けデータベース管理システム(DNMS)が代表製品でデータ保護等の安全性や拡張性の高さが特長。2005年に基幹業務システムのピポルソフト買収後はM&Aを積極化、業務用ソフトを強化。2010年にサン・マイクロを買収、サーバー市場分野に進出。近年はサブスク型のクラウドサービスへのシフトを進める。創業者兼会長のラリー・エリソン氏が筆頭株主。

注目ポイント

□ **マルチクラウド戦略で大躍進**: オラクルはAWS等の大規模クラウド業者と連携を強化、顧客が複数のクラウド環境を円滑に統合・活用するソリューションを提供。自社の高性能データベースを他社クラウド上で直接利用できるにし、効率性や耐障害性を高める取り組みが奏功する。

□ **クラウド受注が急増**: 11月末の受注残は前年同期比約5.4倍の5,233億ドルに急増、メタやエヌビディアの契約もあり、前四半期4,550億ドルからさらに積み上がった。インフラクラウド事業売上は同68%増収と高成長を記録した。ただ積極投資を捻出する高水準の有利子負債は懸念材料。経営陣は独自の調達手法やレンタルモデル活用により資金支出を抑制し、投資適格格付けの維持を確約した。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	150.31 (02/26)
52週高値(日付)	345.69 (25/09/10)
52週安値(日付)	119.01 (25/04/07)
時価総額	4,319億ドル 67兆4,263億円
株価変化率(%)	-36.3 (過去6ヶ月間) -8.8 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	27.3 (倍)
株価売上高比率	7.0 (倍)
PBR	14.4 (倍)
税前配当利回り(%)	1.33 (直近年率)
配当成長率(%)	25.0 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	70.6 (%)
株式ベータ	1.35 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/05	52,961	6	15,353	17	10,467	23	3.71	1.60
2025/05	57,399	8	17,678	15	12,443	19	4.34	1.70

四半期業績								
決算期	売上高	前同比	営業利益	前同比	当期利益	前同比	1株利益	配当
2025/Q2	14,059	—	4,220	—	3,151	—	1.10	0.40
2026/Q2	16,058	14	4,731	12	6,135	95	2.10	0.50

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

防衛から民間大手まで広範に使用可能なデータ分析プラットフォームを提供

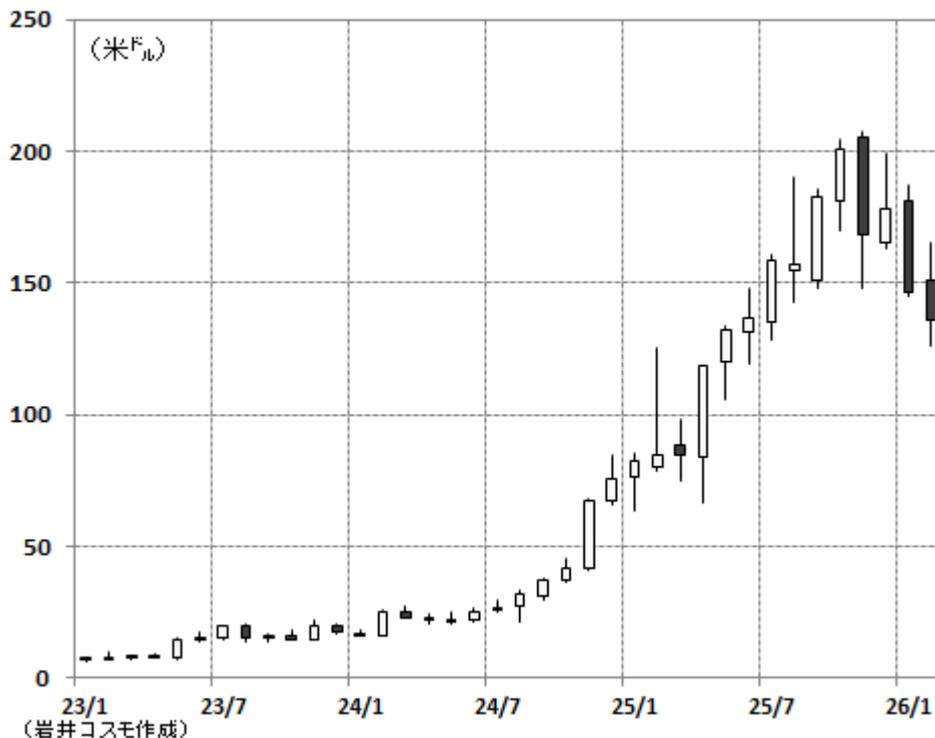
会社概要

データ解析企業。ペイパルの共同創業者ピーター・ティール氏やCEOのアレキサンダー・カプ氏らが2004年に創業。大量のデータを短時間で解析、抽出できる技術に定評有り。「パランティア」は映画「指輪物語」の何でも見通すことが出来る水晶玉に由来。同社株式は2020年9月に直接上場方式でNYSE上場、24年9月にS&P500指数採用、同年11月にナスダックに鞍替え、翌12月にナスダック100指数に採用された。

注目ポイント

□ **米民間部門が急成長**: 10-12月期売上高は前年同期比70%増の14.1億ドルと上場来最高の伸びを記録。特に米民間売上は137%増の5.1億ドルと驚異的な成長を遂げた。AIプラットフォーム「AIP」導入のための「ブートキャンプ」が新規顧客獲得に功を奏し、当該四半期で180件もの100万ドル超の大型案件が成約した。

□ **好調な26年見通し**: 26年通期の売上高見通しを前年比61%増の最大約72億ドルとし、市場予想を大幅に上振れた。一方、足元ではバリュエーションへの懸念などで株価は乱高下しているが、米政府・民間双方での「AI実効力」における優位な立場は確保。英防衛省との大型契約など、米国外での政府案件も成長の余地がある。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	135.94 (02/26)
52週高値(日付)	207.52 (25/11/03)
52週安値(日付)	66.12 (25/04/07)
時価総額	3,251億ドル 50兆7,617億円
株価変化率(%)	-13.3 (過去6ヶ月間) 60.4 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	213.6 (倍)
株価売上高比率	72.0 (倍)
PBR	43.1 (倍)
税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	26.2 (%)
株式ベータ	1.92 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/12	2,866	29	310	2.6倍	462	2.2倍	0.19	0.00
2025/12	4,475	56	1,414	4.6倍	1,625	3.5倍	0.63	0.00
四半期業績								
2024/Q4	828	—	11	—	79	—	0.03	0.00
2025/Q4	1,407	70	575	52倍	609	7.7倍	0.24	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

銀行免許を取得し学生・住宅ローンを中心に急成長するフィンテック

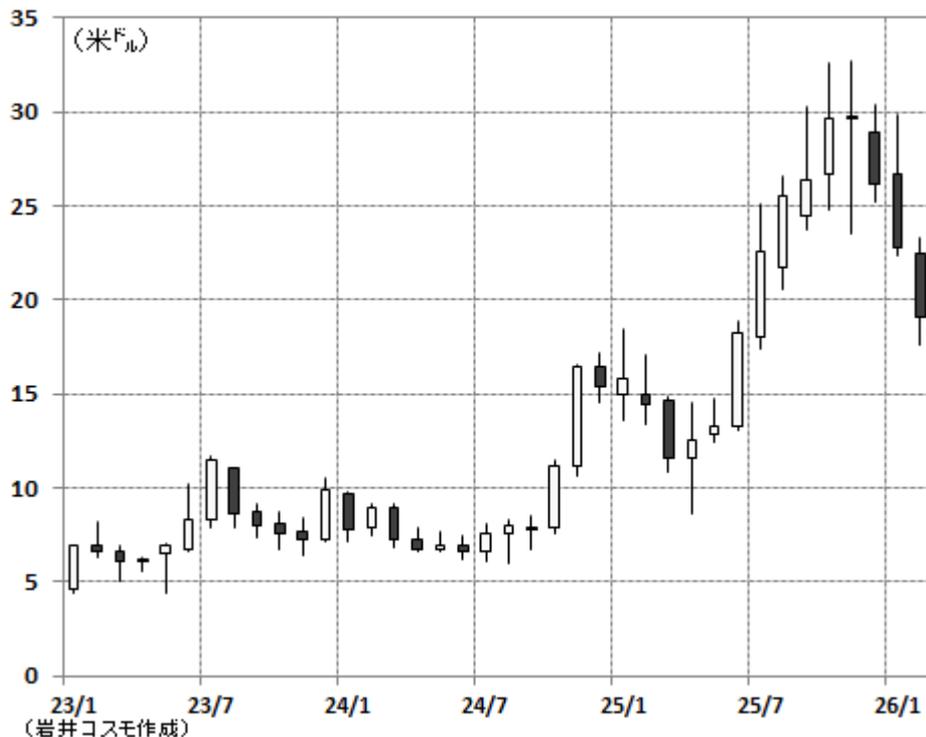
会社概要

米カリフォルニア州拠点のフィンテック企業。学生・個人・住宅ローンや銀行業務、投資、クレジットカード等の金融サービスを単一プラットフォームで提供。2011年創業。事業は貸付、テクノロジー・プラットフォーム、金融サービスの3部門で構成、AI活用を進めつつ若年層中心に顧客を拡大。2025年11月に暗号資産売買サービスを開始。2021年5月にSPAC(特別買収目的会社)経由でナスダック上場を果たした。

注目ポイント

□ **仮想通貨参入で多角化**: 銀行免許取得で自己資金による貸付が可能となり金利収益を最大化。テクノロジー部門では「Galileo」等を通じて他社に決済等の基盤システムも提供する。主力は個人・学生・住宅ローンだが25年11月に仮想通貨取引サービスを開始、銀行口座(SoFi Money)や投資(SoFi Invest)と合わせ金融エコシステムを拡充した。

□ **米政権の政策が追い風**: トランプ政権下の税制で政府の学生ローンに上限が設けられ、柔軟な返済計画も廃止。これにより政府ローンが使いにくくなった学生等が民間の融資機関へ向かう公算。またクレジットカード金利に上限を設ける案が浮上しており、オンライン低コストを活かし金利設定で優位な同社には追い風となる可能性がある。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ

株価(米ドル)	19.1 (02/26)
52週高値(日付)	32.725 (25/11/12)
52週安値(日付)	8.68 (25/04/07)
時価総額	244億ドル 3兆8,029億円
株価変化率(%)	-23.5 (過去6ヶ月間) 35.7 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)

実績PER	50.2 (倍)
株価売上高比率	4.6 (倍)
PBR	2.3 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	5.7 (%)
株式ベータ	1.88 (対S&P500)

通期業績

決算期	純営業収益 (百万ドル)	前同比 (%)	税引前利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/12	2,675	26	233	黒転	499	黒転	0.39	0.00
2025/12	3,614	35	526	125	481	-3	0.39	0.00

四半期業績

2024/Q4	734	—	60	—	332	—	0.29	0.00
2025/Q4	1,025	40	185	3.1倍	174	-48	0.13	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

スペースXの対抗馬、垂直統合型の宇宙ビジネス専門企業

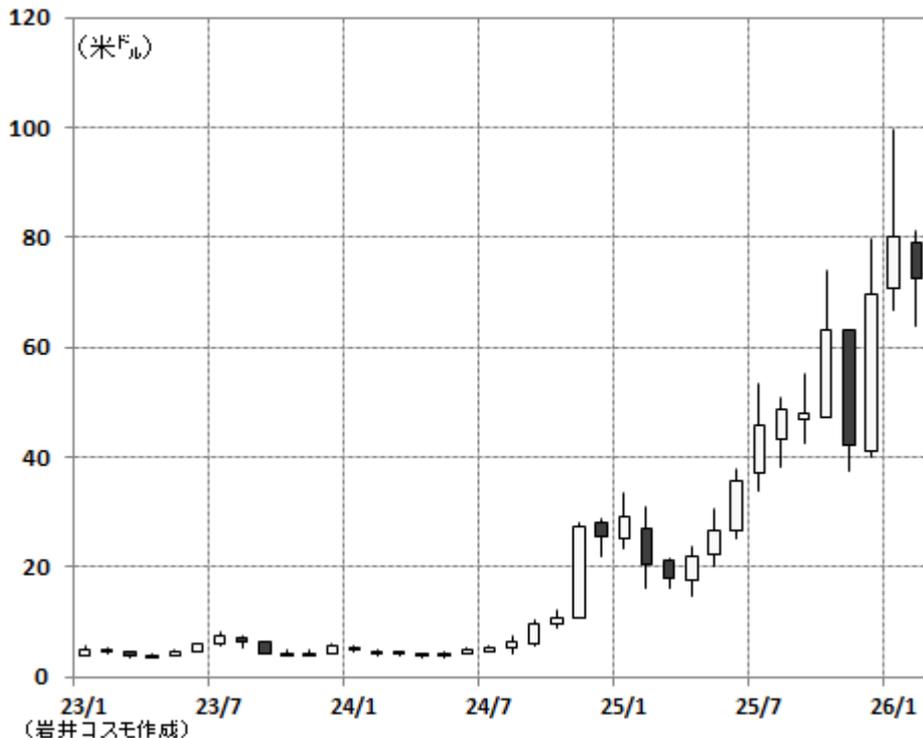
会社概要

スペースXの有力対抗馬と目される、ロケットの打ち上げから衛星製造、宇宙空間での運用までを一貫して手がける宇宙専門メーカー。主力である小型ロケット「エレクトロン」は米国で高い打ち上げ頻度を誇る一方、軍事用衛星・機材を手掛けるジオスト社やレーザー通信端末製造の独マイナリック社を25年に買収発表した。人工知能やレーザー通信等の衛星コンポーネントを内製する垂直統合型ビジネスモデルが特徴。

注目ポイント

□ **受注急増・基盤強固に**：10-12月期売上は1.80億ドルと市場予想を上振れて着地。1-3月期売上見通しは1.85億~2億ドルと市場予想(1.845億ドル)を上回った。年末時点の受注残高は前年比約73%増の過去最高となる18.5億ドルに達し、収益基盤が一段と強固になった。また製造能力増強のため、プレジジョン・コンポーネンツを買収した。

□ **次世代機開発の遅れ**：主力の小型ロケット「エレクトロン」は25年に21回の打ち上げに成功。一方、再利用型中型ロケット「ニュートロン」(積載量1.3万キロ・将来的な有人飛行も視野)は、試験中の推進剤タンク破裂により初打ち上げ時期を26年10-12月期へと延期したが、スペースXに対抗し得る有力な宇宙開発企業として市場からの期待は高い。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価 (米ドル)	72.65 (02/26)
52週高値 (日付)	99.58 (26/01/16)
52週安値 (日付)	14.77 (25/04/07)
時価総額	446億ドル 6兆9,577億円
株価変化率 (%)	57.1 (過去6ヶ月間) 266.4 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)	
実績PER	— (倍)
株価売上高比率	64.3 (倍)
PBR	28.1 (倍)
税前提当利回り (%)	無配 (直近年率)
配当成長率 (%)	— (過去1年間)
株主資本利益率 (ROE)	-23.2 (%)
株式ベータ	1.89 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/12	436	78	-190	赤継	-190	赤継	-0.38	0.00
2025/12	602	38	-229	赤継	-198	赤継	-0.37	0.00

四半期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/Q4	132	—	-52	—	-52	—	-0.10	0.00
2025/Q4	180	36	-51	赤継	-53	赤継	-0.09	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

光部品・レーザーの米国大手、AI向け高速光通信で躍進

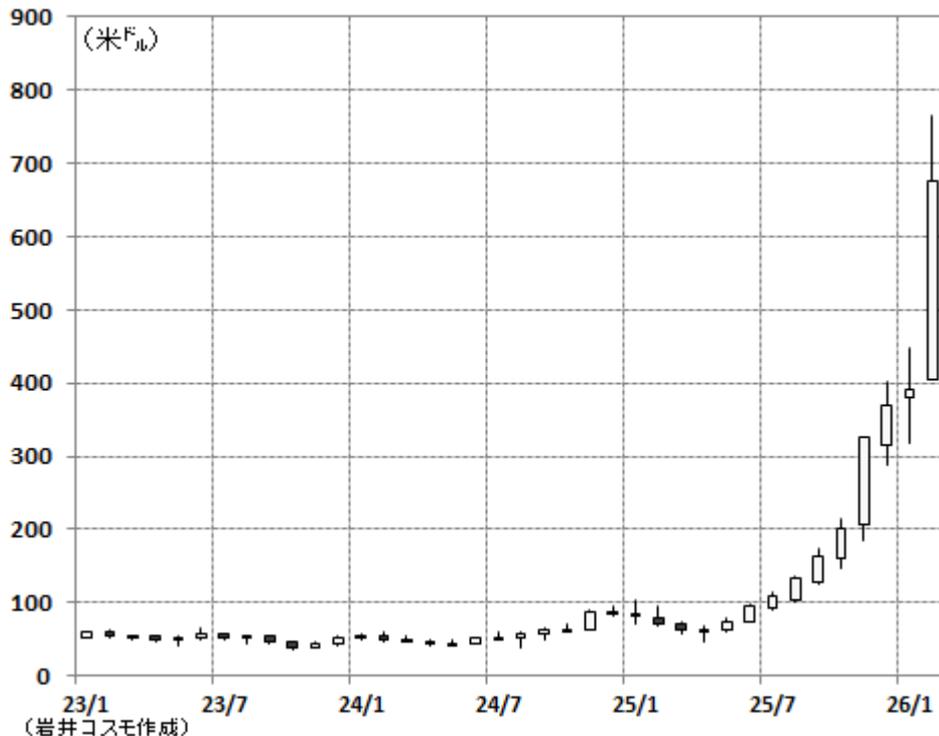
会社概要

光学部品や商用レーザーの設計・製造する米国大手。光通信の先駆者であるJDSユニフェーズを前身とし、2015年の分社化を経て、光学技術に特化した独立企業として再スタートを切った。現在はクラウド・ネットワークと産業・民生の2部門を主軸とし、生成AI向け高速トランシーバの供給やiPhone用3Dセンシング、自動運転向けLiDAR用光源等、多岐にわたる成長産業の基盤を支えている。

注目ポイント

□ **AIインフラ需要の急拡大で恩恵**：生成AI市場の爆発的な成長に伴う超高速通信需要を捉え、収益の約6割をAI関連が占める。クラウド・ライト社の買収によりAIサーバ・同士の超高速で繋ぐ光通信部品の供給能力を飛躍的に高めた。得意先に光伝送装置大手のシエナやグーグルを抱え、継続的な大量受注が業績全体を押し上げている。

□ **光電融合技術の中核**：データ伝送時の発熱と消費電力を極限まで抑える「光電融合」技術で中核を担い、特にチップ近傍で光接続を行う共同パッケージ光(CPO)に不可欠な超高出力CWレーザーで圧倒的シェアを誇る。光の回路を半導体に埋め込んだエスビディア製品にも採用され、従来比80%の低電力化を実現する光源を提供する。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価 (米ドル)	677 (02/26)
52週高値 (日付)	764.99 (26/02/25)
52週安値 (日付)	45.67 (25/04/04)
時価総額	483億ドル 7兆5,470億円
株価変化率 (%)	438.0 (過去6ヶ月間) 872.4 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)	
実績PER	228.7 (倍)
株価売上高比率	22.6 (倍)
PBR	57.1 (倍)
税前提当利回り (%)	無配 (直近年率)
配当成長率 (%)	— (過去1年間)
株主資本利益率 (ROE)	29.3 (%)
株式ベータ	2.04 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/06	1,359	-23	-434	赤継	-547	赤継	-8.12	0.00
2025/06	1,645	21	-180	赤継	26	黒転	0.37	0.00

四半期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2025/Q2	402	—	-52	—	-61	—	-0.88	0.00
2026/Q2	666	65	64	黒転	78	黒転	0.89	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

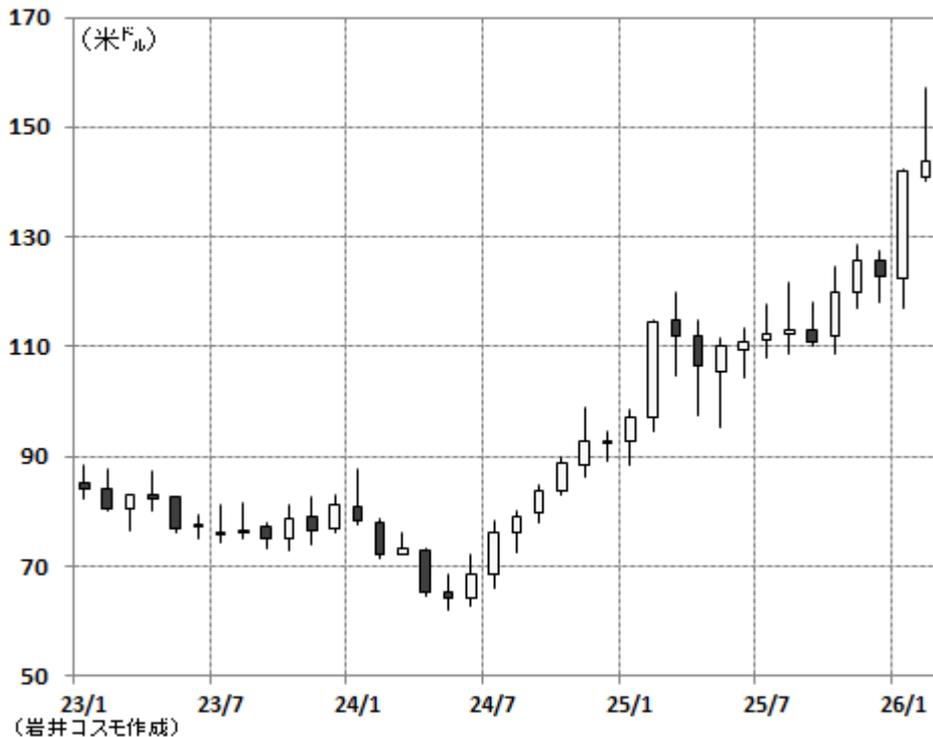
会社概要

米カリフォルニア州フォスターシティに本社を置くバイオ医薬品メーカー、1987年設立。抗HIV(エイズ)薬に強みを持ち、B・C型肝炎、高血圧、がん等を研究対象とする。C型肝炎治療薬が2015年にかけて爆発的に売れたがその後ピークアウト。2017年にCAR-T療法の米カイトファーマを買収し、2019年には欧州ガラパゴスと提携強化。日本法人は2012年設立。現在の従業員数は約17,000人(25年末)。

注目ポイント

□ **がん・肝疾患薬が伸長し多様化**：注力するがん領域が成長軌道に乗り、血液がん向け細胞治療「CAR-T」に加え、乳がん薬「トロテルビィ」の適応拡大が寄与。24年買収で獲得した原発性胆汁性胆管炎の治療薬「リブテルジ」も好調。コロナ薬「レムデシビル」の特需剥落分を、HIV分野以外の新薬群が補う収益構造へ転換を果たした。

□ **年2回のHIV予防薬が市場席巻**：最大の収益柱であるHIV治療薬「ヒクタルビ」が依然堅調。加えて25年6月に承認された長時間作用型HIV予防薬(PrEP)「サンルカ」がゲームチェンジャーとして台頭。年2回の注射で済む利便性から、従来の毎日服用型からの切り替えが加速し、中長期的な成長ドライバーとして期待される。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ

株価(米ドル)	143.77 (02/26)
52週高値(日付)	157.26 (26/02/11)
52週安値(日付)	95.3 (25/05/08)
時価総額	1,785億ドル 27兆8,659億円
株価変化率(%)	26.2 (過去6ヶ月間) 28.4 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)

実績PER	19.0 (倍)
株価売上高比率	6.1 (倍)
PBR	7.9 (倍)
税前配当利回り(%)	2.28 (直近年率)
配当成長率(%)	2.6 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	40.5 (%)
株式ベータ	0.55 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/12	28,754	6	1,662	-78	480	-92	0.38	3.08
2025/12	29,443	2	10,022	6.0倍	8,510	18倍	6.78	3.16

四半期業績

2024/Q4	7,569	—	2,451	—	1,783	—	1.42	0.77
2025/Q4	7,925	5	1,984	-19	2,183	22	1.74	0.79

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

■商号等

取引注意事項

商号等： 播陽証券株式会社

金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第29号

加入協会：日本証券業協会

■播陽証券の手数料及び投資リスクについて

- ①上場国内株券等委託取引の際には、約定代金に対して最大1.2265% (税込み、ただし最低2,750円)の委託手数料をご負担いただきます。
 - ②上場外国株券等委託取引の際には、約定代金(円貨)が7.5万円以下の場合には11.0%(税込)、7.5万円超50万円以下の場合には8,250円(税込)、50万円超の場合には最大で(約定代金の1.00%+2,500円)×1.1(税込)の委託手数料加算額、その他に現地取引所税等の取引手数料をご負担いただきます。
 - ③上場外国株券等店頭取引の際には、購入対価のみをお支払いいただきます。
 - ④投資信託のお取引の際には、下記の販売手数料及び信託報酬等の諸経費をご負担いただきます。
 - 販売手数料(購入価額に対して最大3.85%(税込))
 - 信託財産留保額(換金申込日、または換金申込日の翌営業日の基準価格に対して最大0.50%)
 - 信託報酬(信託財産の総資産総額に対して年率最大2.2%(税込))
 - その他、ファンドの監査費用等
- ◇株式や投資信託は投資元本が保証されているものではなく、価格や為替の変動により損失が生じるおそれがあります。商品ごとに手数料等やリスクは異なりますので、お取引の際には、契約締結前交付書面やお客様向け資料をよくお読み下さい。

■免責事項

- 当資料は、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としております。当資料で言及した銘柄や投資戦略は、投資に関するご経験や知識、財産の状況及び投資目的が異なるすべてのお客様に、一律に適合するとは限りません。投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断で行っていただきますようお願いいたします。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて播陽証券がお客様にご提供いたしますが、見解の正確性、完全性、適時性などを保証するものではありません。
 - ※本資料の情報の一部は、岩井コスモ証券株式会社より取得しております。
- 当資料の情報を基に投資を行った結果、お客様に何らかの損害が発生した場合でも、播陽証券は理由の如何を問わず、一切責任を負いません。